

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目 款：総務費      項：防災費      目：消防指導費

### 事業名    消防団員「アリガト」キャンペーン事業推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2471)

E-mail：[c11193@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11193@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費      3,760 千円 (前年度予算額：3,760 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,760	0	0	0	0	0	0	0	3,760
要求額	3,760	0	0	0	0	0	0	0	3,760
決定額	3,760	0	0	0	0	0	0	0	3,760

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・人口減少、少子高齢化社会を迎え、消防団員は減少傾向にあり、市町村においても、団員の確保に苦慮する中、団員勧誘の実効性を上げるため、県は市町村と連携協力、「消防団員確保キャンペーン」として、PRなどの広報活動、消防団を知ってもらうための普及啓発を中心に事業を展開してきた。
- ・平成25年12月には「消防団充実強化法」が公布・施行され、平成27年12月には、第27次消防審議会の最終答申が示された。(地域における活動への理解促進、被用者、若者、女性及びシニア世代の加入促進等)
- ・これまで消防団活動に興味がない、知るきっかけがなかった県民に対し、加入促進を図るため、消防団の活動を「知る」きっかけを創出する。

### (2) 事業内容

#### ○消防団員「アリガト」キャラバン

- ・消防団の活動内容を知らない人たちが、消防団に興味を持つきっかけとなるイベントを実施。
- ・消防団員の呼びかけで避難ができた住民から消防団員に対する「アリガト」や、消防団員から地域、家族への「アリガト」など様々な「アリガト」を集めてパネル展を開催。

#### ○ありがとね！消防団水防団応援カード抽選会

- ・団員が消火活動や訓練等で不在になる日が多く、負担がかかる家族に対し

て、団員活動のメリットとしてありがとね！消防団・水防団応援カードを活用した抽選会を実施。

### (3) 県負担の考え方

- ・市町村における消防団員の加入を促進させるための支援策として、まずは消防団を「知る」きっかけを創出するとともに、消防団員及びその家族に対してインセンティブが働く事業を実施する。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,760	消防団員「アリガト」キャラバンイベント委託料
合計	3,760	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 事業主体及びその妥当性

- ・消防組織法では、「市町村消防の原則」の観点から、団員確保を含め、消防団の管理運営は市町村の責務であるとされ、県は「市町村の消防が十分に行われるよう」補完的に協力するとされている。また、地方自治法においては、広域にわたるものを県が処理するとされている。
- ・平成25年12月、「消防団等充実強化法」が成立し、国及び地方公共団体は、消防団への加入の促進、消防団員の処遇の改善等に関して必要な措置を講ずることが義務づけられた。
- ・平成27年12月の第27次消防審議会の最終答申において、消防団充実強化のために取り組むべき事項として、勤務地における被用者・公務員・大学生・女性の加入促進が示されたことから、県が主体となって事業を推進していくことは、妥当と考える。
- ・時代に合った団員確保対策等について検討するため、消防庁が令和2年12月に設置した「消防団員の処遇等に関する検討会」最終報告書において、消防団が円滑に活動していくためには、社会における消防団の地位の向上、すなわち消防団のイメージをより良いものとし、社会全体で消防団を応援していこうという雰囲気を作っていくことが肝要であるとされ、地域の安全・安心を守るために活躍する消防団の姿をアピールし、消防団のイメージの向上を図っていく広報をさらに充実させるべきであるとされた。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 減少傾向にある県内消防団員数を増加させることで、減災に最も必要な自助・共助の両側面を有する消防団の機能を充実強化し、地域防災力の維持・向上を図り、来たるべき南海トラフ巨大地震等大規模災害時における安全・安心な地域づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2 年度 実績	R3 年度 実績	R4 年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						%
① 消防団員の条例定数に対する充足率	92.9%	91.0%	91.0%	94.0%	98.0%	%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 （令和3年度からの新規事業のため実績なし）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>・「消防団等充実強化法」により、県は、消防団への加入の促進等に関して必要な措置を講ずることが義務づけられた。</p> <p>・消防庁が昨年12月に設置した「消防団員の処遇等に関する検討会」最終報告書において、消防団のイメージを向上し、社会全体で消防団を応援していこうという雰囲気を作っていくことが肝要とされた。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>県内消防団の約9割が未充足であることから、社会全体で消防団を応援していこうという雰囲気の醸成のため、市町村と連携しながら課題に対して取り組む必要がある。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>消防団への加入を促進するには、まずは消防団活動を「知る」きっかけを創出し、消防団活動に興味を持つよう促す必要がある。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>効果的に消防団員を確保するためには、消防団の活動を地域の住民が「知る」ことから始まるが、次のステップ（消防団加入）へどう繋げていくのか複数年で事業を展開する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>多様な人材の活用、加入促進を加速させるため、消防団活動を広く広報するとともに、消防団員のモチベーションを向上する事業も同時に行うことで消防団員になる魅力も増え加入が促進されるため、複数年で事業効果を検証する必要があり、事業を継続すべきである。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	